



見守り活動NEWS！

＜第1号「事例紹介」＞

みなさまから、平成28年度中に『見守り活動において「こんなことがあった」事例を教えてください』とお願いましたところ、「小中台東地区部会」「緑・黒砂地区部会」「小中台西地区部会」「土気地区部会」「稲毛海岸地区部会」「磯辺地区部会」様よりご提出を頂きました。お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

感謝されたこと、役に立ったこと、残念だったことから、詐欺を防いだことまで、様々な悲喜こもごもの事例をご提出いただきました。プライバシーの問題、担い手不足など課題も多いとは存じますが、少しでも皆様のご参考になれば、と思っております。

なお、個人情報保護の観点から、一部事実と違うもの、脚色しているもの、掲載を見送ったものがあります。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

平成29年5月 千葉市社会福祉協議会

事例1

見守りの対象者

Aさん（女性・80歳代・独居）

異常サイン

ゴミ出しの支援をしており、訪問したところ、応答はあるが、意味不明で、鍵もあけられない様子。

対応状況

介護保険事業者へ連絡し、担当者が来訪。部屋に入ったところ、脱水状態と思われ、救急車を呼び、搬送。入院となる。

対応結果

退院後、施設に入所することとなる。

事例2

見守りの対象者

Bさん（女性・90歳代・独居）

異常サイン

Bさんは、月1回開催している「いきいきサロン」にいつも参加しているが、今月のサロンを欠席。そのため、10日後に見守り隊が訪問したが、留守だった。

対応状況

見守り隊が把握していた緊急連絡先へ連絡を取ったところ、体調不良のため、都内の病院に入院している。早々に退院するとのこと。翌月、見守り隊が訪問したが、引き続き留守だった。

対応結果

再度、緊急連絡先へ連絡したところ、退院後、本人の希望により、介護施設に入所したとのこと。



事例 3

見守りの対象者

Cさん（男性・70歳代・独居）

異常サイン

Cさんから、「息が苦しい…、眠れない…、動くと苦しい…」と、見守りボランティアに連絡が入る。

対応状況

Cさんは、普段から、自治会の助け合い活動の買物支援を受けている方。体力的に、日常生活が大変な方で、あんしんケアセンターに相談するよう促していたが、Cさんは消極的だった。

今回の苦しさは、いつもと違い、相当辛かった様子。Cさんから「あんしんケアセンターに連絡してほしい」とのことで、連絡。早速、あんしんケアセンターがCさんの様子を見に来て、バイタルチェックしたところ、救急車を呼ぶことに。

対応結果

救急搬送され、緊急手術。後日、肺に水がたまっていたとの連絡あり。

退院後、介護認定、ヘルパーの利用等をサポート。今では、ふれあい食事サービスに参加するなど、元気に外出ができるようになった。

事例 4

見守りの対象者

Dさん（男性・70歳代・独居）

異常サイン

「新聞受けに新聞がたまっていて、風呂場の電灯も点灯したまま。さらにベランダに洗濯物が干したまま。」と、隣人から見守り担当者に連絡が入る。

対応状況・結果

娘さんに連絡するとともに、管理人、自治会長、警察へ連絡。警察が風呂場を見たところ、浴槽内で亡くなっていた。救急車の手配を行い、搬送した。



事例 5

見守りの対象者

Eさん（女性・80歳代・独居）

異常サイン

管理組合より、「Eさんと同じ棟のXさんから、最近Eさんの体調が悪いようだ、と連絡があった。Xさんは民生委員にも、その旨連絡したようだ。」と見守り委員へ相談あり。

対応状況

見守り委員はEさんを月1回程度、定期的に訪問しており、近隣に住む息子さんの連絡先を把握しており、息子さんに連絡し、状況を確認。

息子さんからは、「母は最近、体調がすぐれず、食欲も落ちている。どのように対応したらよいかかわからず、相談できる人もおらず、困っています。どうすればよいのでしょうか。」と、見守り委員に相談があった。

見守り委員は、総合病院で精密検査を受けることを勧め、まずはかかりつけ医に相談するよう促した。

対応結果

Eさんは、その後、総合病院にかかり、通院継続中。息子さんと同居することとなった。息子さんからは、困っていた時に気にかけていただいたことに、感謝の言葉を頂いた。

事例 6

見守りの対象者

Fさん（女性・80歳代）

異常サイン

障害のあるお子さんをバス停に迎えに行った際、転倒し負傷したと、その場にいた住民から管理人、管理人から見守りの会に連絡が入る。

対応状況

本人の状況を確認し、救急搬送手配。病院に付き添う。

対応結果

その後、退院し、リハビリ施設へ入所、その施設も早々に退所できるところまで回復している。



事例 7

見守りの対象者

Gさん（女性・80歳代）

異常サイン

見守りをを行っているYさんが、見慣れない人がGさん宅に入っていくところを確認。

対応状況

YさんがGさんに聞くと、「浄化槽の点検に来たというので、家に上げた。」とのこと。見慣れない人に対し、Yさんが声かけ。見慣れない人は「無料点検です。」と言って、作業を行おうとしていた。Yさんは、『点検を頼んだら、簡単に水を流した程度で、結構なお金をとられた。』という話を以前に聞いており、見慣れない人を追い払った。外には、仲間と思われる人が2～3人。

対応結果

Gさんは「お金をとられるとは思っていませんでした。」とのこと。色々な見守りの形があると思いました。

事例 8

見守りの対象者

Hさん（男性・90歳代・妻と60代息子の3人家族）

異常サイン

買物へ自転車で行っているHさんが転倒したのを目撃した方、「みまもりたい」へ連絡あり。

対応状況・結果

「みまもりたい」により、数回訪問するが応答なし。あんしんケアセンターに連絡し、同行訪問するも応答なし。連絡をとりたい旨のメモをポストに数回投函したところ、本人から連絡があり、無事が確認された。

